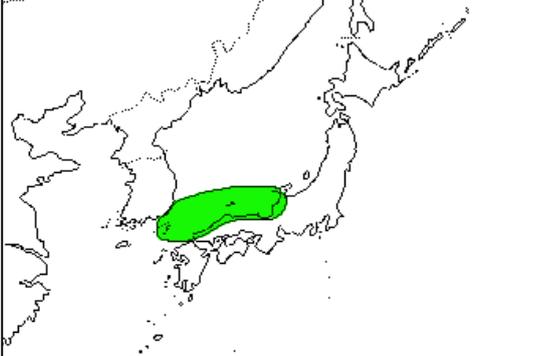


移動性高気圧に覆われオープン続く!

2004年4月9日～12日JG0TEV 中村

春の移動性高気圧が日本付近を覆い続け、連日に渡るオープンが確認されました。

4月9日のダクト発生域(推定)



日本海西部 6～9エリア間で
ダクト発生によるオープンが確認されました

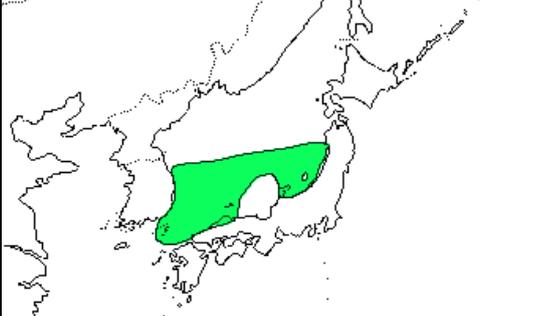
JR9HCV 室野さんからのオープン情報

ダクト発生により6～9エリア間のオープンが確認されました

本日金曜日、半日出張帰りに口能登(羽咋郡)の標高500mへ
林道の状況をチェックがてら行ってきました。

19時頃JP6EWG江藤さんが2.96でピーク59オーバーで
聞こえていました(もちろんノンプリ)FM

4月10日のダクト発生域(推定)



若狭湾付近を除く日本海南部を中心に
ダクトが発生し6～7エリア間オープンが
確認されました

ダクト発生により6～7エリア間のオープンが確認されました

4月11日のダクト発生域(推定)



4-7エリア間の限定的なオープンが
確認されました

JO7IZC須藤さんからのオープン情報

ダクト発生により4～7エリア間のオープンが確認されました
(広範囲には至らず)

21:23 JR4MDA(鳥取・米子)-JO7IZC(秋田・由利郡)

RS51-51 FM

4月12日のダクト発生域(推定)



南西諸島付近で
ダクト発生によるオープンが
確認されました

JM6WRH 平さんからのオープン情報

ダクト発生により奄美大島～沖縄間のオープンが
確認されました

20:25 JR6QWW(沖縄・具志川市)-JM6WRH(鹿児島・奄美大島)
RS59-59 FM

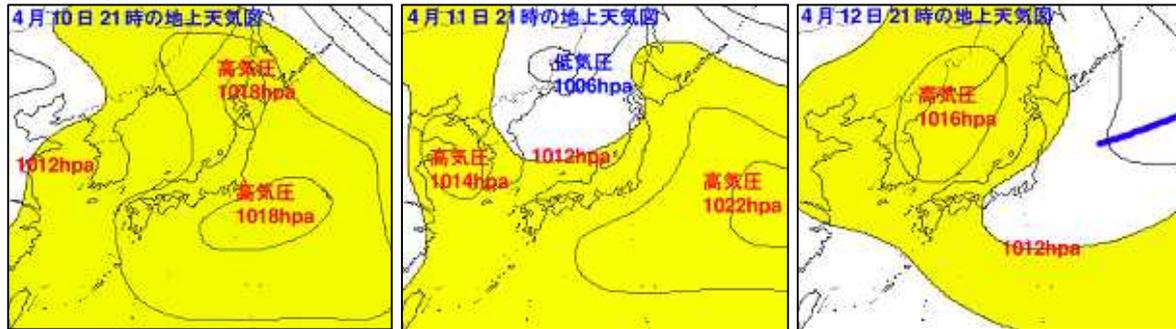
21:03 JS6QLF(沖縄・中頭郡) -JM6WRH(鹿児島・奄美大島)
RS53-59 FM

21:35 JS6QNI(沖縄・沖縄市) -JM6WRH(鹿児島・奄美大島)
RS59-59 FM(GP)

気象解析

地上天気図から移動性高気圧が日本付近を広く覆っていたことがわかります。
850hpa面の1,500m等高線の北上は10日がピークでその後南海上へと後退しています。
500hpa面の5,700m等高線の北上も850hpaと同様の傾向が見られます

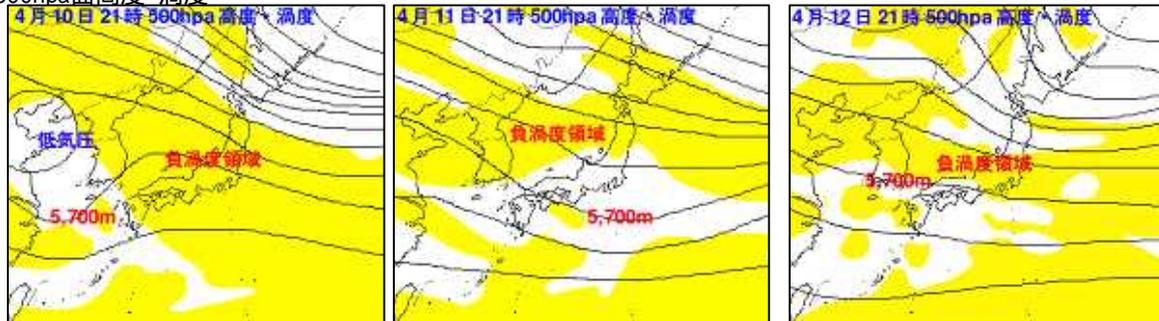
地上天気図



850hpa面高度



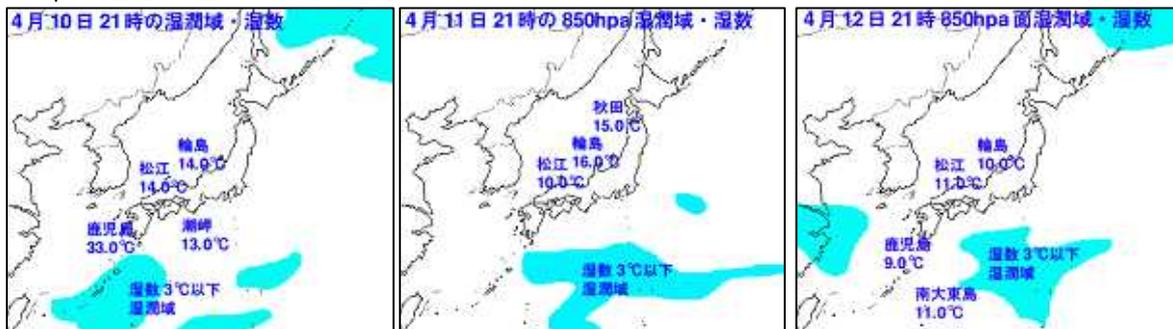
500hpa面高度・渦度



上空に流れ込んだ空気についてみると、850hpa面湿潤域・湿数から本州付近には乾燥した空気が流れ込み続けていたことがわかります。

850hpa面の気温に着目すると10日、11日は9℃の等温線が日本海中部を横切るまで北上。
12日は寒気の南下によって9℃の等温線は本州の南海上に南下。
日本海中部は3℃の等温線が横切る状態になります。

700hpa面湿潤域・湿数



以上から、10日、11日は本州の南海上と日本海で、12日は本州の南海上でダクト発生条件がそろいやすくなっていたと解析します。